



やまもととしあき  
山本俊明議員

## 第7次福祉計画・介護 保険事業計画を問う

議員 2018年から2020年までの3年計画である第7次福祉計画、介護保険計画は予定どおり進んでいるのか、問題点はあつたか、結果はどうか、百歳まで安心して暮らせるかたずねる。

**健康福祉部長** 本計画は笠岡市における地域包括ケアシステムの構築を目指して策定している。生活支援サポートを養成し、高齢者の生活上の困り事の解決を行う生活サービス提供が始まつたことが大きい。被保険者の自立支援、重度化予防に資する事業をどう進めしていくのかが重要である。具体的な施策は新年度予算に反映したい。計画は概ね順調に推移していると考えている。百歳まで安心して暮らせる為に医療・介護・住まい・介護予防・生活支援の連携を強化



する。高齢になつても安心して暮らせる福祉のまち笠岡をつくる。

## 神武東遷日本遺産 参画を問う

議員 神武東遷日本遺産認定にむけて宮崎市・権原市とともに岡山県では笠岡市だけが参加している。今後どう進めるのか、認定された場合、地域の活性化等まちづくりにどのように活用するのか笠岡市の考えをたずねる。

**教育部長** 今後神武東遷のルートにある市町村が一体となつて日本遺産認定に向けて取り組む。平成31年1月宮崎市から文化庁へ認定申請書を提出する予定としている。認定された場合、このチャンスを観光振興、地域活性化の一つの契機とし、高島の文化と魅力についてしっかりと情報発信を行うと共にこの流れを笠岡諸島・笠岡市全体の地域活性化につなげる。



ふじいよしあき  
藤井義明議員

## 大混乱 幼保 一体化計画

議員 幼保一体化・小中一貫教育は連動・連携を考慮して進めるべきと考えるが、考えをたずねる。

**教育長** 就学前教育・保育施設再編整備計画は、来年度公表する予定の小中一貫教育推進計画と連携すべきものと考える。

議員 神島外浦に小学校も中学校も残るのであれば、外浦の保育園は残すべきと思うが、考えをたずねる。

**こども部長** 島しょ部の子どもたちの受け入れ場所の確保が陸地部に必要になると考えており、外浦の保育所も含めて検討を進めているところである。

議員 来年度の就園児が卒園する

まで施設を継続することであれば、金浦・陶山幼稚園は素案では平成32年度に再編だが、両幼稚園は平成34年3月まで継続するということか。

**こども部長** 現在の計画でそのまま行くならば、平成34年3月まで継続となる。

